



技術史教育

第115号

2018.7.31

Education for History of Technology

第115号 目次	日本技術史教育学会2018年度総会・研究発表講演会開催報告…………… 武長 玄次郎(1)
	日本技術史教育学会2018年度総会報告…………… 山館 順(2)・(3)
	お知らせ・理事会議事録・編集後記…………… (4)
【総会・研究発表講演会開催報告】	

2018年度総会・研究発表講演会開催報告

2018年度総会・研究発表講演会実行委員会
武長 玄次郎(木更津高専)

日本技術史教育学会の2018年度総会・講演会は2018年6月23日、東京・四ツ谷の上智大学で行われました。

上智大学四谷キャンパスは、正門前一号館のように歴史と伝統を感じる建物に加えて、会場となった中央図書館をはじめ、多くの新棟が建設され全面改修も進んでいます。上智大学の新しいご発展を、心から応援いたします。

31名が出席した研究発表講演会では、12件の発表が行われました。

まず午前のセッションは、「八田與一の技術協会における活動」(武長玄次郎会員)からはじまり、「古代メソポタミア文明遺跡の現地調査研究-第2報 メソポタミア最古の都市・サポテカ文明」(渡部紘一会員)、「鉱山絵図の検証 I -佐渡金山大切山坑および百枚間歩-」(久間英樹会員ほか1名)、「文系大学生の技術(史)教育20年」(吉田喜一会員)、「工業高校の実習教育と工業科教員養成の課題」(長谷川雅康会員ほか2名)、「機械製図の文化の変革に関する研究:第16報 製図の文化・製図論について(その3)」(平野重雄会員ほか3名の6件の報告が行われました。

午後は特別講演からはじまりました。中村恵三足利工業大学名誉教授による演題「ヨーロッパの図書館事情-中世~バロック期のヨーロッパの図書館の歴史概説と18世紀ウィーン刊の建築書『歴史的建築の構想』の研究資料検索の体験について-」は、深い歴史的知識と鋭い洞察にもとづく古代ギリシア以来のヨーロッパ世界(イスラム世界を含む)における図書館や書物のあり方や変遷についての議論に続き、自ら訳書を出されたフィッシャー・フォン・エルラッハ『歴史的建築の構想』との出会いと紹介がなされました。その内容のすばらしさに、出席者は皆圧倒されたようでした。討論を含めて70分は短すぎると感じました。

午後のセッションは、「鉄道技術遺産の再生と活用の試み」(真保光男会員)、「学問と研究における『主体』と『意識』-日本語と日本文学そして科学技術-」(田中道彦会員)、「京漢鉄道と芥川龍之介」(山館順会員)、「中国の石造アーチ橋の現地調査研究-趙州橋、永通橋(石家荘)、盧溝橋-」(南 正晴会員)、「ボンジエリ-南インドに根付いたフランス文化-」(塩津宣子会員ほか1名)、「カシュガル-技術文化の十字路-」(下間頼一会員ほか1名)の6件の報告が行われ、合計12件でした。報告をめぐって活発な議論が行われました。

最後の報告後、急逝された中辻 武会員(元本学会関西支部幹事)について下間頼一会員から報告があり、その後出席者が1分間の黙祷を捧げました。

総会后、会場を移動して懇親会が行われ、23名が出席しました。特別講演をされた中村恵三氏にもお出でいただき、和やかな雰囲気の中で講演会での議論の続きをし、懇親を深めることができました。

開催校上智大学の長嶋利夫実行委員長をはじめ皆様のご協力のおかげをもちまして、充実した2018年度総会・研究講演発表会を開催することができました。実行委員一同大変うれしく思い、感謝申し上げます。



日本技術史教育学会 2018 年度総会報告

山館 順(本学会総務担当理事)

2018年度総会は2018年6月23日(土)千代田区の上智大学中央図書館8階L821会議室において開催された。参加人数は27人、長嶋利夫実行委員長による開会後議長団選出に移り、議長吉田喜一、書記穂積洋一両氏を選出、以下の順に議事進行した。

審議事項1 2017年度事業報告が総務・企画・編集担当各理事よりなされた。

1)総会・全国大会・関西支部総会

総会は2017年6月10日(土)、町田市の玉川大学キャンパスにて開催(小原宏之実行委員長)。全国大会は同年12月9日(土)~10日(日)盛岡市の岩手県公会堂で開催(小野寺英輝実行委員長)。

関西支部総会・講演会は2018年3月4日(日)大阪市の大阪産業大学梅田サテライトキャンパスにて開催、3月5日(土)は見学会、関西支部主催。

2)国際会議

「機械設計・機械技術史国際会議2017」は2017年8月28日(月)~29日(火)中国・北京市の北京航空航天大学で開催。

3)他学協会との関連事業

他学協会との関連事業を開催した。

4)学術刊行物の発行

学会誌「技術史教育学会誌」第19巻第1号(2017年9月)、第2号(2018年3月)発行。

ニュースター「技術史教育」第110~113号(2017年4月、7月、10月、2018年1月)発行。

5)その他

学会規約により日本技術史教育学会「優秀講演論文賞」候補者を募集、審査・表彰を行った。日本学術会議、科学技術振興機構等からの事務的要請に対し、事業協力を行った。他学会からの要請により高度な学術支援を行った。学会HPを定期更新した。

審議事項2 2017年度収支決算報告がなされた。

審議事項3 監査報告が武藤康彦監事よりなされ、2017年度事業報告、収支決算報告とも承認された。

審議事項4 2018年度事業計画案が承認された。内容は以下の通り

1)総会・全国大会・関西支部

総会は2018年6月23日(土)上智大学にて開催(長嶋利夫実行委員長)、全国大会は2018年12月22日(土)~23日(日)に厚木市の神奈川工科大学にて開催(岡崎昭仁実行委員長)。関西支部総会・講演会・見学会を2019年3月に関西支部担当で開催予定。

2)国際会議開催

「機械設計と技術史国際会議2019」は、2019年9月中旬、国内関西地区にて開催する準備を進める。

3)他学協会との関連事業

2018年度も他学協会との関連事業を積極的に開催する。

4)学術刊行物の発行

学会誌「技術史教育学会誌」第20巻第1号(2018年9月)、第2号(2019年3月)発行予定。ニュースター「技術史教育」第114~117号(2018年4月、7月、10月、2019年1月)発行予定。

5)その他

学会規約による日本技術史教育学会「功績賞・業績賞」「優秀講演論文賞」候補者を募集、審査・表彰を行う。日本学術会議、科学技術振興機構等からの要請に対し、事業協力を行う。他学会からの要請により高度な学術支援を行う。学会HPを定期更新する。

審議事項5 2017年度予算案を審議し承認された。

審議事項6 2017年度表彰、功績賞・業績賞は中辻武氏(故人)、優秀講演論文賞は齊藤 純、星 朗両氏、長く監事を務められた田中道彦氏、理事を務められた平野重雄氏、国際会議実行委員長の白井 一氏に感謝状を授与する旨報告がなされた。

審議事項7 関西支部関連報告について渡部紘一理事より、前記2018年度事業計画案の内容に沿って開催する旨の報告がなされた。

審議事項8 国際会議開催「機械設計と技術史国際会議2019」、2018年度事業計画案の内容に沿って開催予定。

審議事項9 次期(2018年4月~2020年3月)役員候補者が提案され、承認された。新規役員は下記の通り。

審議事項10 その他、学会誌投稿論文の査読体制、論文及び資料の位置付けについて意見が出された。このことについて、新規理事会で検討することとした。また2017年度開催の国際会議に関する収支決算報告が実行委員長からなされていないため、本年度全国大会で報告することとした。

議長団解任後表彰状授与式に移り、これをもって2018年度総会は閉会した。

表彰状授与式では、中辻 武(故人)、齊藤 純両氏に表彰状、田中道彦、平野重雄両氏に感謝状が授与された。

《新規役員(2018年4月~2020年3月)紹介》

会長・理事 牛山 泉(足利大)

理事 岡崎昭仁(神奈川工科大)、桑原啓一(オフィス・クハラ)、鈴木夏夫(玉川大)、武長玄次郎(木更津高専)、丹野哲也(文科省初等中等教育局)、堤 一郎(茨城大)、中條祐一(足利大)、中村純一(プラス・ワン)、穂積洋一(片柳学園)、山館 順(サレジオ高専)

理事(地方) 佐藤和敏(七飯町立大沼中鈴蘭台分校)、小野寺英輝(岩手大)、佐野 浩(新潟経営大)、渡部紘一(松江高専名誉教授)、吉田 勉(サンテクトロ)、高峰(西日本工大)

監事 田中明美(東京大)、武藤康彦(上智大名誉教授)

顧問 林 邦夫(上智大名誉教授)、大川時夫(職能開大名誉教授)、下間頼一(関西大名誉教授)、白井靖幸(千葉工大名誉教授)、林和宏(大阪産業大名誉教授)

日本技術史教育学会2018年度全国大会(神奈川・厚木)
開催案内と研究発表講演募集

2018年度全国大会(神奈川・厚木) 開催実行委員会
委員長 岡崎昭仁(神奈川工科大学)

本学会2018年度全国大会を、2018年12月22日(土)~23日(日)(23日は見学会)に神奈川県厚木市で開催いたします。つきましては会員各位による研究発表を募集いたします。

会場: 神奈川工科大学(神奈川県厚木市下荻野1030、TEL046-291-3073 小田急本厚木駅から路線バス乗車約30分)

◆募集要領: 講演発表希望の会員は、下記メールアドレスまで以下の項目を記入し送付するか、学会事務局あて封書で郵送してください。

送付先「happyou.jseht@gmail.com」

1) 講演題目: 主題、副題-

2) 講演者名: 登壇者に○印(会員に限る)、所属名(およびその略称)

3) 申込者連絡先: 〒・住所・TEL/FAX・E-mail

4) キーワード: 5つ程度

5) 使用機器: 液晶プロジェクタ(パワーポイント、キーノート、PCは各自持参)。書画カメラ・OHPは準備できません。

なお、「受付後の講演題目と発表者名の変更」は認められません。講演原稿執筆時に十分ご注意ください。

◆研究発表申込締切: 2018年10月22日(月)17時必着

◆研究発表講演原稿提出期限: 2018年11月22日(木)17時必着 (ともに期限厳守) 申込から原稿提出

まで時間的余裕がございませんが、ご理解ください。

◆研究発表講演原稿は、「PDFでの提出」をお願いいたします。

◆講演資格: 講演発表は「2018年度会費納入済」の会員であることが前提です。

◆申し込みの方におかれましては、同一講演者の場合は一件のみの申し込みでお願い致します。

◆学会事務局: 〒113-0034 東京都文京区湯島1-12-5 小安ビル6階(梯プラス・ワン気付、日本技術史教育学会事務局2018年度全国大会実行委員会宛。TEL/FAX:03-3835-2494(電話対応は毎週火曜日のみ、FAX常時受付)。

◆開催校連絡先: 神奈川工科大学准教授 岡崎昭仁(オカサキアキヒト) Tel046-291-3073/Fax046-242-6806(直通)「e-mail: akihito@eng.kanagawa-it.ac.jp」特別講演は検討中です。

見学会予定(変更もあります)

2018年12月23日(日)9:00~16:00

箱根・小田原周辺散策を予定

◆全国大会プログラム、見学会等の詳細はニュースレター第116号と本学会ウェブサイトに掲載いたします。

◆その他、全国大会参加費3,000円、見学会参加費未定、宿泊先は各自で手配してください。

【 理事会議事録 】

◆第151回(通算197回)理事会

日時: 2018年6月2日(土), 15:00~18:00, 場所: サレジオ高専104事務会議室, 出席者: 牛山・堤・山舘・武長・田中(明)・桑原・鈴木

議題 0) 前回(第150回)議事録承認, 1) 各部門報告<総務(会員動向、会費関連)、編集(学会誌、NL編集関連)、企画(2017年度全国大会収支報告、2018年度総会準備、2018年度全国大会に関して)>, 2) 2017年度表彰者選定、次期理事候補案, 3) その他国際会議関連, 4) 次回理事会日程未定

【 国際会議関連 】

◇「機械設計・機械技術史国際会議 2017」の会計報告が遅れております。全国大会でご報告いたしますので、今しばらくお待ちください。

◇「機械設計・技術史国際会議」を2019年に開催するための準備が、関西支部で進められています。今後中国側と折衝を重ね、講演論文募集を今後発行のニュースレターに掲載する予定です。

【 新入会員紹介 】

□ 永尾 徹(足利大学)

個人情報につき、氏名・所属のみ掲載(敬称略)

【 会費納入のお願い 】

2018年度も4ヶ月が経過しましたが、本年度会費(正会員6,000円、学生会員3,000円)未納の方が多くおられます。早めの会費納入をお願いします。また過年度会費未納の方についても、本年度会費に未納年度会費をあわせて早急に納入くださるようご協力ください。なお会費納入用の郵便振込用紙は、本年4月30日発行のニュースレター第114号と共に、会員各位のお手元に送付済みです。

【 編集後記 】

会員数の減少に対する増強が常に課題となっておりますが、秘策がございましたらご提案くださるようお願いいたします。本号の発行が遅れましたことをお詫び申し上げます。また次号第116号は全国大会日程の関係で、多少遅らせて発行する予定ですが、どうぞよろしくお願い致します。(穂積洋一)

日本技術史教育学会ニュースレター 第115号

2018年7月25日 印刷

2018年7月31日 発行



技 術 史 教 育

Education for History of Technology

発行者
編集

日本技術史教育学会 会長 牛山 泉
日本技術史教育学会
(株) プラス・ワン気付 日本技術史教育学会 事務局
〒113-0034 東京都文京区湯島1-12-5 小安ビル6F
TEL/FAX: 03-3835-2494
E-Mail: jseht@nifty.com